

拓心

切り拓け たくましい心で



教育目標「知恵と精神を磨き 技と力を鍛え 絆を結ぶ 中央共育」【一校一行】あいさつ

彦根市立中央中学校
令和2年1月30日号

中学生広場「私の思い2019」で発表された作文を紹介します。

『My dream & Yell』

私には夢があります。それは、小児科の医師になることです。小児科医になりたい理由、それはいくつもあります。

1つ目の理由は以前お世話になった主治医の先生に対する憧れです。

私は、生後4ヶ月で手術をしました。「ヒルスプルング」小腸の70%の神経が生まれつきなく、腸を切除しないと命に関わる重篤な状態だったのです。4ヶ月になった私は、長浜の病院から岐阜の病院までヘリコプターで運ばれ、手術は7時間にも及んだそうです。手術は無事に終わりましたが、ミルクが飲めなかった私はカテーテルで栄養の補給をしてもらっていました。その後6歳になるまでは点滴が続き、入退院を繰り返しました。小児科の先生や病院の皆さんには、とてもお世話になりました。どんなに大変な状況でも笑顔で接していただき、てきぱきと仕事しておられる主治医の先生に、私はいつか大きな憧れの気持ちを抱くようになりました。

2つ目の理由は小児科の医師が不足している現実を何とかしたいと思ったからです。

私が将来働きたいと思っている病院には、以前は小児科の先生がたくさんおられたのですが、現在はお一人という現状にあります。大人になった私が、小児科医としてそこで働き、皆さんのためになんとか役に立ちたいと思っているのです。

そして、3つ目の理由はブラジル人の患者を助けたいということです。

私が小学生のころお世話になっていた病院には、通訳してくれる方がいませんでした。入院しているときは、母がお薬の説明や治療のことなどを、先生や看護師さんからお聞きして、ブラジルの皆さんにポルトガル語で説明するというのをしていました。けれども難しい治療のことや、手術のことなどは、母が説明するわけにはいきません。ブラジルの子どもたちが具合が悪くなった時に、安心して受診し、入院生活が送れるようにポルトガル語で会話ができる私がお役に立ちたいと思うのです。

そして、4つ目の理由。それは私の病気です。私は自分の病気を治したいのです。

「先天性中枢性低換気症候群」略して「CCHS」という病気を聞いたことがあるでしょうか。これが私の病気の名前です。この病気は、20万人に1人という難病です。症状はいくつかありますが、その最も大きなことは「寝ると呼吸が止まる」ということです。おおまかにいうと「寝るときに呼吸をする」ということを、私の脳が知らないのです。「寝るときにも呼吸をしなさい。」と命令する脳の神経が生まれつき死んでいるのです。ですから寝るときは、必ず人工呼吸器をつけなければなりません。マスク型の人工呼吸器は通常5歳くらいからしか使えないというのが一般的です。5歳までは、喉を切開して酸素を送る「トラキオ」という方法をとるんだそうです。母は、喉を切開することを避けて「酸素マスクを使う」ことを選びました。マスクは赤ちゃんにはゆるいので、外れると大変です。お医者さんからは、「夜中もずっと見ていないとだめですよ。」と言われたそうです。それでも母は、「見ています。」そう答え、寝ずに赤ん坊の私を見守ってくれたそうです。それ以来、私はずっと、寝ているときは人工呼吸器をつけています。

中学校に入学する直前の春休み、私は母から病気の資料を見せてもらいました。その時、「ヒルスプルング」という私のもうひとつの病気が、CCHSの二次障害の中に含まれていることを初めて知りました。

「あ、そうなんやー。神経の病気やから、いろいろつながってるんやなあ。」今までもやもやしていたものが晴れたような気がしました。この病気は知名度も低く研究している方は、日本国内では5人しかいらっしゃらないということも知りました。この方たちが働いていらっしゃる病院は、東京と山形です。ですから専門のお医者さんには、簡単に会うこともできません。私は、この病気で苦しんでいる方を救うためにも、近畿地方で初の研究者となって、一日でも早く、この病気の治療方法を発見したいのです。もちろん、「医者になる」という夢を叶えることはそう簡単なことではないと思います。勉強を重ね、人の何倍も努力することが必要になるでしょう。体力のない私には、ほかにも心配なことはたくさんあります。けれども、夢は見るものではなく叶えるものです。自分が何かしなければ先に進めないと思います。

努力を重ね夢に向けて頑張ります。自分のためにも、そこにいる誰かのためにも。

自分の生き方を考えることは大切なことだと思います。誰もが必ず持っている自分の良さを生かしてくれることを願っています。



Hikone-chuo J. H. S.

3年生へYELLを！

本格的に進路を決めるシーズン到来

3年生のみなさんにとってはよいよ本格的に進路を決めていくシーズンの2月に入ります。もうすでに進路が確定したり受験を経験した人もいますが、多くの人はこれから受験（検）することになります。内容や方法は様々ですが、本番を見据え心と体と頭を万全に整えていってください。今までやってきたことを、蓄えてきた力を発揮する時です。実力以上の力を本番で出すことは難しいことです。大切なことは、いつも以上のことを期待するのではなく、いつもの力を出すことです。そのためにも、心を落ち着かせ、体調を崩さない準備をしてください。

2年生のみなさんは、テキスト学習が始まりました。先日の進路に関する説明会でも話がありましたが、今の3年生の姿が1年後のみなさんなのです。

1年生のみなさんは、まだ先のことと思っているかもしれませんが、中学校生活の3年間は早いものです。日々の自主学習の積み上げが努力の証として2年後の成果となります。

「継続は力なり」 小さな努力の積み重ねを大切にしていきましょう！



中央中博覧会 ~ご来場ご協力ありがとうございました~

去る1/15~18に渡って開催しました中央中博覧会には、保護者や地域の皆様をはじめ公民館職員の方々や園、小学校、関係機関など多数の皆様にご来場、ご協力をいただきましてありがとうございました。心よりお礼申しあげます。平田小学校、金城小学校の6年生児童の書写作品とともに展示した中央中学校の生徒作品は、美術科、技術・家庭科の作品や国語科、社会科、理科、英語科など各教科の学習成果が随所に発揮されていました。また、学級活動や部活動での完成度の高い作品など、日頃の成果を見ていただけたのではないかと思います。これからも、子どもたちの力を引き出し伸ばしていくために家庭や地域での声かけや励ましもよろしくお願ひします。

また、準備から後始末にかけて中地区公民館の方々をはじめ地域コーディネーターや学校支援員の皆様にご協力をいただきありがとうございました。今後とも中央中教育の発展に向けお世話になりますが、どうぞよろしくお願いいたします。



3月の予定 弥生 March

2 (月) 1・2年期末テスト ※1・2年給食なし	3 (火) 1・2年期末テスト	4 (水)	5 (木)	6 (金) 中央中人権の日	7 (土)	8 (日)
9 (月) 県立一般選抜 前日指導	10 (火) 県立一般選抜 ※3年給食なし	11 (水)	12 (木)	13 (金) 卒業式予行 前日準備 ※3年給食なし	14 (土) 第37回卒業証書 授与式 ※全学年給食なし	15 (日)
16 (月) 振替休業	17 (火) 県立入学許可 予定者発表	18 (水)	19 (木) 小学校卒業式	20 (金) 春分の日	21 (土)	22 (日)
23 (月) 1・2年学年別 保護者会 県立二次選抜	24 (火) 修了式 ※1・2年給食なし	25 (水) 県立二次発表	26 (木)	27 (金)	28 (土)	29 (日)
30 (月)	31 (火)	4/1 (水)	2 (木)	3 (金)	4 (土)	5 (日)

新たな目標を持ち、さらなる成長をめざしましょう！ (昨年度より離任式は行っていません)

